

議会だより

第154号

2012年11月

にらさき

第3回定例会	P2
第1回臨時会	P5
ここが聞きたい（一般質問） ..	P7
議会改革推進特別委員会活動報告 ..	P12



11月4日 第1回ヒルクライムチャレンジシリーズ萑崎甘利山大会開催

第3回定例会

平成24年第3回葦崎市議会定例会は、9月6日に招集され、会期を9月25日までの20日間と定め審議を行いました。

今議会で審議された案件は、条例の改正や補正予算など38案件を審議し、原案のとおり可決・承認・同意等されました。

一般質問は、8議員が登壇し市政について市長の考えをたしました。

【条例制定（一部改正）】

◆議案第60号
葦崎市職員定数条例の一部を改正する条例

選挙管理委員会職員の定数及び農業委員会職員の定数について改正を行いました。

◆議案第61号
葦崎市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

所得税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、山梨県ひとり親家庭医療費助成事業費補助金交付要綱が一部改正されたため、条例の改正を行いました。

◆議案第62号
葦崎市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例

市営住宅の入居資格について「身体障害者」を「障害者基本法第2条第1号に規定する障害者」に変更し、「福島復興再生特別措置法第21条」を追加する改正を行いました。

◆議案第63号
葦崎市定住促進住宅条例の一部を改正する条例

定住促進住宅の家賃等の改定を行い、市内への定住を促進するため、条例の改正を行いました。

【補正予算】

一般会計補正予算（第2号）、下水道事業特別会計補正予算（第2号）、介護保険特別会計補正予算（第1号）が、財務常任委員会で審査された後、本会議で可決されました。

おもな内容は以下のとおりです。

◆平成24年度一般会計補正予算（第2号）

《補正予算額》 2億9,023万9千円

◇主なもの（歳出）

- 歳計剰余金を財政調整基金積立 2億2,799万7千円
- 口座振替システム改修経費等 455万円
- 市営火葬場火葬炉修繕追加経費 273万5千円
- 企業立地支援事業 4,189万2千円
- まちなか活性化推進事業 256万円
- 観光施設管理事業 147万円
- 市単独道路整備事業 3,005万5千円

- 市立公園管理事業 231万円
- 災害対策事業 294万4千円
- 地区公民館運営事業 354万4千円
- 史跡等保存整備管理事業 285万3千円

◆下水道事業特別会計補正予算（第1号）

《補正予算額》 998万1千円

（下水道施設移設工事及び職員給与費の補正）

◆介護保険特別会計補正予算（第1号）

《補正予算額》 966万8千円

（損害賠償収入の計上及び職員給与費並びに償還金の補正）

【人事案件】

以下の各人事案件について同意、選任しました。

◆ 蕪崎市教育委員会委員の任命について

蕪崎市教育委員会委員の任期が平成24年10月22日満了となり、後任者の任命について市長より議会の同意を求める提案がされ、次の方を任命することに同意しました。

矢 巻 令 一 (円野町上円井)

◆ 蕪崎市教育委員会委員の任命について

蕪崎市教育委員会委員の任期が平成24年10月22日満了となり、後任者の任命について市長より議会の同意を求める提案がされ、次の方を任命することに同意しました。

清 水 亘 (大草町下條西割)

◆ 蕪崎市固定資産評価審査委員会委員の選任について

蕪崎市固定資産評価審査委員会委員の任期が平成24年10月22日満了となるため、市長より議会の同意を求める提案がされ、次の方を選任することに同意しました。

内 藤 まつ子 (本町4丁目)

◆ 御座石山恩賜県有財産保護組合議員の選任について

御座石山恩賜県有財産保護組合議員の任期が平成24年9月29日満了となるため、選挙を行いました。

土 屋 泰 彦	(円野町上円井)
小 澤 昭 男	(円野町上円井)
山 本 一 明	(円野町下円井)
内 藤 駒 勇	(円野町下円井)
秋 山 尹 胤	(穴 山 町)
大 柴 十四昭	(穴 山 町)
井 上 廣 昭	(穴 山 町)
藤 森 儀 文	(穴 山 町)
細 窪 康 文	(穴 山 町)
藤 原 春 榮	(中田町小田川)

◆ 御勅使川入旧三十六ヶ村入会山恩賜県有財産保護組合議員の選任について

御勅使川入旧三十六ヶ村入会山恩賜県有財産保護組合議員の任期が平成24年10月17日満了となるため選挙を行いました。

堀 川 茂 憲	(龍岡町下條東割)
田 原 格	(龍岡町下條南割)
根 岸 芳 雄	(大草町若尾)
山 本 平	(大草町上條東割)
堀 内 中	(旭町上條南割)
清 水 康 雄	(旭町上條北割)

お詫びと訂正

8月25日発行の153号の記事『人権擁護委員候補者の推薦』において、小泉千寿子様の住所に誤りがございました。

人権擁護委員候補者
小 泉 千寿子
誤 (藤井町南下条)
↓
正 (藤井町駒井)

以上のとおり、お詫びして訂正いたします。

採 択

〈意見書の提出〉

内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣及び総務大臣に

30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持、国における教育予算の拡充について意見書の提出を要請する請願。

蕪崎市PTA連合会
会長 貝瀬勝政様他
(提出者)

☆30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

- 1 書対し、以下を求める意見書を提出しました。
少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため30人以下学級とすること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に還元すること。
- 3 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

請 願

一般会計(歳出総額)138億7千362万1千円など 平成23年度決算を認定

平成24年第3回定例会では、平成23年度の一般会計、特別会計(14会計)及び企業会計(2会計)決算について、財務常任委員会(清水正雄委員長)に付託審議のうえ本会議で認定しました。決算額は以下のとおりです。

【平成23年度決算額】

(単位：千円)

		歳入	歳出	
一般会計		14,393,460	13,873,621	
特別会計	国民健康保険	3,190,754	3,156,653	
	後期高齢者医療	234,994	234,847	
	簡易水道	9,557	9,506	
	下水道事業	1,173,834	1,173,834	
	介護保険	1,823,626	1,816,914	
	介護サービス事業	10,523	10,523	
	財産区	6,222	5,890	
企業会計	市立病院	収益的	2,409,858	2,338,962
		資本的	100,759	333,895
	水道事業	収益的	828,200	821,316
		資本的	141,418	309,081

【23年度決算に伴う財務指標の報告】

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行にともない、財政指標を議会に報告し、公表しなければならないこととされています。

【健全化判断基準】

()内は財政健全化計画等を策定しなければならない基準

- 実質赤字比率 黒字のため数値なし (13.66%)
- 連結実質赤字比率 黒字のため数値なし (18.66%)
- 実質公債費比率 13.0% (25.0%)
- 将来負担比率 68.9% (350.0%)

⇒ 実質公債費比率、将来負担比率とも、平成22年度決算より改善されました。

【資金不足比率】

- 簡易水道・下水道事業特別会計、病院・水道事業会計 資金不足を生じていないため数値なし (20.0%)

⇒ いずれの比率も基準を下回っており、健全な財政運用がなされています。

※決算額の詳細は、広報11月号をご覧ください。

財務常任委員会での質疑(抜粋)

〔一般会計〕

■総務費

◎ 徴収率の低下については、昨年度差押等納税交渉不足により納付に結びつかず、徴収率の低下につながった。対処として臨戸訪問し、滞納者と接触を持ち現状を確認し、納付指導、財産調査、滞納処分を行い納付に結びつけたと思います。

◎ 市民交流センターの施設管理運営事業が5,300万円の支出があるが、ビル全体の維持経費か。

◎ ビル管理の関係だけの経費であります。もちろんこれ以外に指定管理の費用や公民館機能の設置による経費を含め全体では1億8千万円程度掛かるとは試算しています。

■民生費

◎ 就労支援事業について、生活保護世帯等に就労を支援するものだが、就労意識を高めるために就労支援事業の前に行う事業があるのか。

◎ 生活保護の適切な処置ということで国のセイフティネット関係で多彩な事業を展開しています。これらの事業については、大変補助率も高率ということで、中学卒又は高校中退等々の、学業支援又は伸びる医療費についてはレセプト点検などの項目がありますので生活保護費の適正運用に努めるうえでも来期に向け検討したいと思えます。

■衛生費

◎ 女性特有のがん検診推進事業ですが、がん検診受診率を50%に上げることを目標に取り組んでいるが、受診率を見ると大変低く思うが、担当者としてどう思うか。

◎ 広報、ホームページ、県のパンフ等により周知を行っているが、まだ意識が低いのではないかと思うところがあります。

■農林費

◎ 農地、水、環境保全対策事業があるが、これは農家自らが自分たちで環境を整備して行く事業であり市内24地区で行っているもので、非常に有効な事業であったが23年度で終了と聞いているが、今後の24地区はどのような考えを持って行うのか。

◎ 農地、水、環境保全対策事業は本年度も継続して行うこととなつています。各地区から聞き取りを行い、事業を実施して行く予定であります。

■教育費

◎ 育英奨学金ですが、奨学金の返済について市内に住むなどで免除となる規定はあるのか。

◎ 市内事業所に3年以上勤務した場合に免除されます。

第1回

(10月)

臨時会

臨時会が10月17日召集され、地方自治法の規定により19日までの会期3日間で審議がおこなわれました。

提出された案件は5件で、副議長の改選が行われ、新副議長に、岩下良一氏が当選しました。その他、条例改正議案の審議、常任委員会や議会運営委員会等の委員構成などを行いました。

【条例制定（一部改正）】

◆ 葦崎市防災会議条例及び葦崎市災害対策本部条例の一部を改正する条例について

市長の諮問に応じて市の地域に係る防災に関する重要事項を審議することや、委員の選任についての条項を追加した。

【人事】

◆ 常任委員会委員並びに議会運営委員会委員の選任

下記のとおり選任されました。

【選挙】

◆ 副議長選挙

岩下良一 議員

◆ 山梨県後期高齢者医療広域連合議員の補欠選挙について

小林伸吉 議員

常任委員会等委員構成

平成24年10月19日就任

■ 総務教育常任委員会

政策秘書課、総務課、企画財政課、会計課、議会事務局及び教育委員会の所管する事項並びに他の委員会に属さない事項

委員長	清水	一
副委員長	田原	一孝
委員	一木	長博
〃	藤嶋	英毅
〃	秋山	泉
〃	高添	秀明

■ 市民生活常任委員会

市民課、税務課、収納課、福祉課、介護保険課、保健課、静心寮及び市立病院の所管する事項

委員長	小林	伸吉
副委員長	清水	康雄
委員	清水	正雄
〃	野口	紘明
〃	岩下	良一
〃	守屋	久

■ 産業建設常任委員会

農林課、商工観光課、建設課及び上下水道課の所管する事項

委員長	輿石	賢一
副委員長	宮川	文憲
委員	小林	恵理子
〃	森本	由美子
〃	西野	賢一

■ 議会運営委員会

議会運営及び議長の諮問に関する事項

委員長	森本	由美子
副委員長	西野	賢一
委員	清水	一
〃	小林	恵理子
〃	一木	長博
〃	藤嶋	英毅
〃	清水	康雄

■ 財務常任委員会

予算及び決算に関する事項

委員長	藤嶋	英毅
副委員長	秋山	泉
委員	清水	一
〃	小林	恵理子
〃	清水	正雄
〃	森本	由美子
〃	輿石	賢一
〃	小林	伸吉
〃	西野	賢一
〃	田原	一孝
〃	清水	康雄
〃	高添	秀明
〃	宮川	文憲
〃	守屋	久



委 員 会 活 動 報 告

9月定例会会期中の委員会

総務教育常任委員会

《請願審査》

請願第24―4号

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度
拡充を図るための請願書

↓ 採択

《その他の審査内容》

各課長に現状報告と概要説明を求め、質疑
を行った。

- (1) 人事管理について
- (2) 入札制度について
- (3) 市有財産の有効利用と管理について
- (4) 総合防災対策の調査、研究について
- (5) 情報公開について、個人情報保護制度について
- (6) 男女共同参画社会づくりについて
- (7) 公共交通網について
- (8) 公金管理について
- (9) 工事中の安全管理、施工管理について
- (10) 学校教育について
- (11) 生涯学習について
- (12) 生涯スポーツについて
- (13) 「取調べの全過程の可視化を求める意見書」の採択を求める請願書について

市民生活常任委員会

《その他の審査内容》

各課長に現状報告と概要説明を求め、質疑
を行った。

- (1) 生活環境について
- (2) ゴミ資源リサイクルの推進について
- (3) 健康保健事業推進について
- (4) 高齢者保健福祉事業について
- (5) 介護保険事業推進について
- (6) 少子化子育て支援について
- (7) 市税について
- (8) 病院の運営について
- (9) 静心寮の運営について

産業建設常任委員会

《その他の審査内容》

各課長に現状報告と概要説明を求め、質疑
を行った。

- (1) 農業の振興について
- (2) 農業用道路、水路の整備について
- (3) 鳥獣害防止対策について
- (4) 観光事業の推進について
- (5) 産業の振興と雇用の促進について
- (6) 中心市街地の活性化促進について
- (7) 企業誘致について
- (8) 市内道路網の整備促進について
- (9) 建設工事の促進について
- (10) 都市計画について
- (11) 上下水道事業の促進について

副議長就任あいさつ



副議長
岩下 良一 議員

このたび、10月19日の臨時会において、議員各位のご推挙により、栄誉ある韮崎市議会第61代副議長に就任いたしました。

この職の重要性を十分認識し、市民の皆様の負託に応えるべく努めさせていただく所存であります。

地域主権により地方議員の果たす役割は、従来に増して大きくなります。議員力を高めるため議長と一体となっており、議員とのコンセンサスを得て各種研修会の開催に取り組むとともに、今後ますます少子高齢化の伸展する中で、今を生きる市民のためだけでなく、次の世代の人たちのためにも財政の健全化を図りつつ持続可能な社会保障を構築するため、全議員で勉強をしていきたいと考えます。

多様化する価値観の中で、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりのため誠心誠意努めてまいりますので、市民の皆様方の厚いご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

一般質問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

8人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。
詳細な内容は、「[菫崎市ホームページ⇒議会⇒会議録](#)」で確認することが
できます。録画中継も配信しています。



田原 一孝 議員
【菫政クラブ】

その他質問

- ◆グリーンフィールド穂坂の駐車場確保について
- ◆市民バス龍岡線の運行距離延長について

防災対策と減災の 取り組みは

質問 本年2月に防災計画の見直しをしたが、周知されていない。市民への徹底は。

答弁市長 本年5月に全地区長を対象とした研修を行い、あわせて防災、減災への取り組みをまとめたCDを配布し、さらに減災対策に関するリーフレットを全戸に配布した。また、武田の里ライフカレッジや老壮大学においても周知した。

質問 自主防災組織の強化はどのように行っているのか。

答弁市長 地域の皆さんが主体となった災害に強いまちづくりに取り組めるよう、活動の核となる地域減災リーダーの育成をしており、リーダーが指導する組織の創設や運

営体制の構築に努めている。あわせて、出前塾等を通じて防災、減災の意識や関心を高めていただく啓発を実施している。今後も地区長連合会を中心に、自主防災組織の組織率の向上や強化に向けた取り組みを図っていく。

質問 台風やゲリラ豪雨により、河川の氾濫や山間地の土砂崩壊などが予想されるが、現在、市内で崩壊危険箇所は何力所あるのか。また、孤立が予想される地区数とその対策は。

答弁市長 土石流危険箇所73力所、急傾斜地の崩壊危険箇所61力所が指定されている。また、大雨による孤立が予想される地区は2地区である。集中豪雨や台風による土石流やがけ崩れなどが発生した場合に、被害を受ける恐れのある地域を示し、避難などの適切な行動が

とれるよう、現在、土砂災害ハザードマップを作成中であり、その完成に合わせて全戸へ配布するとともに、各地区への説明会を開催し、避難体制等の整備を図っていく。

質問 大雨等による河川の危険箇所は何力所あるか、その対策は。

答弁市長 国・県が管理している河川のうち、大雨時に堤防高の不足などの理由による重要水防箇所は37力所ある。国・県では定期的に河川の点検を行っており、異常が発見された場合は補修等を行うと聞いている。今後、必要に応じて改修等の要望を行うとともに速やかに対応できるように国・県と連携を図っていく。

質問 昨年の台風により、桐沢橋上流の堤防に設置されていた聖牛数基が流され、堤防は現在無防備状態であり、上・下祖母石、一ツ谷の住民は、大雨の影響に対し不安を感じている。堤防補強のための早急な対応は。

答弁市長 河川管理者である県に現地を確認してもらいたい要望していく。



宮川 文憲 議員
[荏政クラブ]

その他質問

- ◆定住促進の取り組みについて
- ◆ヒルクライム甘利山大会開催について

PPS(特定規模電気事業者)について

質問 9月1日より東京電力の電気料の大幅値上げに伴い、市内公共施設の増額見込み額とPPSからの電力調達について。

回答 市長 公共施設電気料金は市役所、病院、学校施設全体で昨年度と比較し約2,400万円17.8%の増額となる見込みであります。次にPPSからの電力調達につきましては、調査・研究を行い、格差の大きい施設から前向きに検討してまいりたいと考えております。

市税等の適正確保について

質問 一般会計・特別会計の自主財源税収は不納欠損額、収入未済額とも年々増加傾向にある。税負担の公平性の確保と24年度の取り組みについて。

管理をするよう指導してまいります。

防災教育について

質問 過去の震災を教訓に、子供に防災時に自分の判断で身を守る力を育てる初動訓練をNPO法人減災ネットやまなしと連携し、防災教育の取り組みが肝要と思うが。

回答 教育長 今後NPO法人減災ネットやまなしとどのような形で学校と連携が図れるか、研究してまいります。

穂坂小学校入口改修と駐車場確保について

質問 児童の安全確保の措置として、従来の正門からの車輛乗り入れは原則禁止とし、飯米場公民館入り口に変更となったが、入り口が狭隘で早急の拡幅改修と現在休園の園庭を駐車場に開放を。

回答 教育長 今後、拡幅の必要性も含め、駐車場の利用の安全性に配慮してまいる考えであります。又休園中の穂坂保育園の園庭の一次的利用については検討してまいります。



守屋 久 議員
[荏政クラブ]

いじめの現状と対策について

質問 法務省が本年発表した調査によりますと、学校でのいじめが3,306件で過去最多を更新したそうです。本市におけるいじめの実態について伺いたいします。

回答 教育長 いじめ問題を背景事情として児童・生徒の自殺が発生したことを受け、本年4月から8月までの本市におけるいじめ問題の実態を調査したところであり、調査したところであり、学校の内外を問わず、当該児童・生徒が一定の人間関係にある者から心的・物理的な攻撃を受けたことにより精神的な苦痛を感じるものをいじめとし、各学校が児童・生徒を対象としたアンケート調査、個別面接や本人及び保護者からの相談などにより教職員が認知したものを、各学校から報告されたものであります。この調査により、いじめの問題を認知した学校及び件数は、小学校が5校で246件、中学校が2校で29件であります。このうち、小学校221件、中学校15件は既に解消されており、他の36件についても解消に向けて、継続的に指導しているところであります。

消防団の現状について

質問 人員確保が大きな問題となっている消防団員について、県内の消防団員数は1953年をピークに年々減少し、現在ではその半数以下まで落ち込んでいます。過去10年間を見ても急速に団員不足が進んでいる状況がうかがえます。808名を擁している荏崎市消防団の現状を当局ではどう把握しているかお聞きいたします。

回答 市長 消防団は即応・動員力にすぐれた施設として、消火活動や災害時の住民避難支援、救助等、担う役割が拡大している中、現状は、少子

化や就業構造の変化に伴い、団員の確保が難しくなってきたことは認識しております。今後、このような状況を踏まえ、人口構造の変化に伴う部の編成や団員数の見直しが必要と思っております。多くの意見を拝聴しながら検討してまいりたいと考えております。

保育園の再編整備計画について

質問 本市では、保育園再編整備計画が進められています。今後の動向をお尋ねいたします。

回答 市長 今後の計画の進め方につきましては、今般設置いたしました荏崎市再編保育園建設構想委員会において、子ども・子育て関連3法案や今後の社会情勢等を踏まえた上で、官と民とが共存共栄できる最善の経営形態や保育サービス等を見極め、再編する地区、建設場所、規模等を検討してまいります。また建設構想委員会により、具体的に建設場所等が示された際には、関係する保護者や地区住民に説明を行い、理解を得てまいる考えであります。



高添 秀明 議員
[葦政クラブ]

その他質問

- ◆新府城址の整備について
 - 1) 第2期整備計画の策定状況について
 - 2) トイレ、駐車場等の施設整備について
 - 3) 主要地方道茅野・北杜・葦崎線の移設について
- ◆製造業の振興について

リの中にある図書館や子育て支援センターは多くの利用者があり大変好評であります。勿論、市

福祉政策の見直しについて

【質問】本市においては、人口減少とともに少子高齢化は急速に進んでおります。今後、高齢者福祉事業の予算額は、毎年1割以上の予算増になると言われております。

このため、福祉政策の見直しをすべきと考えます。

高齢者福祉も必要な政策であります。本市の将来を見据えた時、最も重要な福祉政策は、子育て政策ではないでしょうか、子供が増加するような政策に転換をすべきと考えます。

市長の見解をお伺いたします。

【答】市長 福祉政策につきましては、第6次長期総合計画を基に地域福祉計画のほか、子育て支援計画として、平成22年度からの5年間を計画期間

その他質問

- ◆市発注工事について
- ◆いじめについて
- ◆割羽沢川の改修について
- ◆御勅使地区メガソーラー発電施設外側の廃堤について
- ◆農業問題について

ています。ごみも資源ととらえ、徹底的に分別することにより、ごみを減らしているよう対策をとるべきと考えますが、当局の見解を求めます。

道路行政について

【質問】国道52号線、御勅使工業団地入り口交差点については、朝夕の出退社時の交通渋滞は大変な状態であり、改善要望をだしていますが一向に改善されておられません。

一日も早い渋滞解消を願うわけですが、見解を求めます。

【答】市長 この交差点については、渋滞緩和策としての信号機の改良について、山梨県公安委員会への回答は、右折レーンのない交差点では矢印信号の設置はできないとのこととあります。

また、時差方式による信号処理は、十字路交差点では危険性が高いとの理由で時差式信号にはできないとのこととありますので、ご理解を願います。

その他質問

- ◆市発注工事について
- ◆いじめについて
- ◆割羽沢川の改修について
- ◆御勅使地区メガソーラー発電施設外側の廃堤について
- ◆農業問題について

ています。ごみも資源ととらえ、徹底的に分別することにより、ごみを減らしているよう対策をとるべきと考えますが、当局の見解を求めます。

ごみの減量化について

【質問】ごみの減量化については一向に対策がとられないまま、今日に至る

【答】市長 ルート選定のための予備設計までは終了しており、本年度において羽根地区、西割地区への地元説明会を開催する予定であります。

最適ルートの選定に時間を要したことにより、事業の進捗が当初より遅れております。

家庭ごみの減量化には、生ごみ処理機の購入補助制度により推進しておりますが、排出ごみについては資源物と区分し、適正な排出についてごみ収集力レンダーに掲載するとともに、出前塾や広報誌等で市民に定期的に周知を図っております。



清水 康雄 議員
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆商店街活性化計画について
- ◆上下水道本管耐震化の進捗状況について
- ◆旭町地内の治山計画について
- ◆国民文化祭について

農業行政について

質問 農地の管理について、市内のいたるところに農地が手付かずの状態が放置されており、周辺の農業者は非常に迷惑を受けているが、土地の所有者に対して通知すべきと思うが、この対処について当局の考えは。

威嚇用の器具等の貸し出しが必要と思うが、当局の考えは

答 市長 電動エアガン及び通常より火薬量の多い花火等があり、これらの器具について、調査・研究したうえで、導入、貸出について検討してまいります。

土木行政について

質問 県立北病院南堤防の整備について、御勅使上橋より上流の左岸堤防を整備し、市民の散策路に活用すべきと思うが如何か。

答 市長 堤防上の有効利用として遊歩道を整備することは、地域の防災面からも有効と考えるので、河川管理者の県に要望する。

質問 主要地方道葦崎・

南アルプス・中央線バイパス計画について、早期の着手が出来るよう県に働きかけるべきと考えるが如何か。

答 市長 現在、最適ルートについて県と地元の間で協議が行われておりますが、早期に工事着手できるように県に要望する。

質問 甘利沢川河川内の雑木除去について、河川内の雑木が大きく、地域においては対処出来ない状況であります、早急な対応が必要と考えるが如何か。

答 市長 県と現地確認を行い、早急に対応していただけるよう要望してまいります。

質問 古川の河川改修について、数年前より改修工事が進められておりますが、県道甘利山公園線までの年次計画を示せ。

答 市長 上流の若尾地内の840区については、平成29年度末の完成と伺っておりますが、早期に完成するよう県に要望してまいります。



小林 伸吉 議員
[公明党]

その他質問

- ◆いじめ問題について
- ◆防災・減災について
- 1)木造建築物の耐震化への取り組みについて
- 2)家具等の転倒防止具への助成について
- ◆再生可能エネルギーの導入促進について
- ◆主要地方道 葦崎・昇仙峡線の穂坂橋西詰め市道交差点への道路照明の設置について

子育て支援について

質問 子供の健やかな成長と子育て家庭を応援し、安心して子供を産み育てられる社会の実現を目指す次世代育成支援の取り組みが極めて重要になっています。また、少子化の問題は私たちが取り組まなければならない最も重要な課題の一つであり、子供を育てる環境を整備していくことは、家族、地域、企業、そして行政の責任であると考えます。そこで、本市が直面する「保育園の再編計画について」伺います。

ました。また、市民には、8月6日よりパブリックコメントにより、計画案に対する意見を求めました。今般、計画案を加筆訂正し、改めて市ホームページ等で周知します。

質問 小規模保育園の統合については、小学校区や地域性を考慮することが、妥当であると考えますが、市の考えは。

答 市長 建設構想委員会により具体的に建設場所等が示された際には、関係する保護者や地区住民等に説明を行い、理解を得ていく考えです。

保護者や関係する市民への十分な説明や意見聴取の経緯と今後の計画を伺います。

質問 保育所保護者連合会との懇談会で、計画案の概要とパブリックコメントについて説明し、保護者に周知をお願いし

げる制度拡充の考えは。

答 市長 病児・病後児保育の対象年齢の引き上げについては、現状の施設・設備は乳幼児用となっておりまして、小学校高学年の児童の受け入れは考えていません。

公営住宅の長寿命化と居住環境について

質問 公共住宅の整備に關し計画的な修繕や改修をすることにより長寿命化を図ることで、コストの削減や安心、安定した住環境を市民に提供することができると。市の長寿化計画は。

答 市長 長寿命化の内容ですが、屋上の断熱防水、防水性のある外壁塗りがえ、手すりやアルミ製に取りかえる等、耐久性の向上を図る工事を行っております。



小林恵理子 議員
【日本共産党】

その他質問

- ◆ 峡北広域環境衛生センター可燃施設管理調査検討委員会の提言・検証について
- ◆ 産科分担制のエリア拡大について
- ◆ 市立図書館での地域・行政資料の収集充実について

十三市で最も高い
国保税引き下げを

【質問】 値上げされた国保税の納付決定通知が届けられました。山梨県社会保障推進協議会の自治体アンケート調査で、韮崎市の税額が、今年度の引き上げで、13市の中で最も重い1位となったことがわかりました。

今年6月1日時点での滞納世帯は613、短期保険証の交付364、資格書交付117です。

今回の値上げが滞納をさらに増やし、低所得者を医療から遠ざけることにつながることは明らかです。一般会計からのやりくりで引き上げ額を抑えたとはいえ、市民生活の現状からすれば、さらなる繰り入れ、国保税の引き下げが必要です。

【答】市長 保険給付費の伸びに見合った保険税の確保を基本とするので、

引き下げのための繰り入れは難しい。今後も医療費増大が見込まれる。大幅な引き上げに繋がらないよう努力していきたい。

保育園再編計画
地域住民へ説明を

【質問】 先日行われた議会報告会の場で、参加した市民からは保育園の統廃合への意見も出された。

「地域から保育園がなくなればさらなる人口減につながる」「次々公共施設がなくなり地域がさびれていく」「地域の活性化策を市はどう考えているのか」などです。

地域住民への説明も行い、意見を吸い上げ、理解と納得を得る課程は必須だと考えます。

【答】市長 具体的に建設場所等が決められた際には、関係する保護者や地区住民等に説明を行い、理解を得ていく。

条例を強化し
空き家対策を

【質問】 埼玉県蕨市の「老朽化空き家等の安全管理に関する条例」が注目されています。このまま放置しておくとも老朽化がさらに進み、危険な状況になる空き家が、不審者の侵入や放火など防犯上の不安ばかりでなく、地震における倒壊の恐れなどから防災上の危険性もあるとして、第3者への被害を未然に防止するための条例を来年実施に向け準備しているとのこと。

蕨市内でも放置されている空き家、庭木などが問題となっています。蕨市を参考に取り組むべきです。

【答】市長 今後、新たな条例策定など建物の管理・防犯等、安全対策を踏まえる中で、検討していく。

10月27日
第5回甘利山クリーン大作戦
を開催

第5回甘利山クリーン作戦が開催され、市議会議員を含め多くのボランティアが参加し、甘利山レンゲツツジの保全のため熊笹を刈りました。



議場を見学しました

10月5日穂坂小学校の3年生が、社会科見学の 일환として市役所内を見学。その際、市議会の議場を見学しました。

子どもたちは、議長席に順番にすわり、その議場の大きさを体感していました。



「議会改革推進特別委員会」活動報告 その2

前回に引き続き、10月までの協議結果を議会改革推進特別委員会よりご報告させていただきます。

委員会では、班活動と定例委員会において、議会基本条例と改善提案事項の検討を行っております。また、執行部と議会の関係に係る事項についての執行部の回答を確認しました。今までの検討結果について、その進捗状況の一部を示し、今後の開かれた議会活動の指針としての条例を策定してまいります。

1、会議開催状況

- ① 特別委員会（定例会）…………… 13回
- ② 班会議（1班、2班会議）…………… 18回
- ③ 講演会、研修会開催…………… 2回
（地方自治法の改正、地方交付税制度の概要）
- ④ 執行部との協議会…………… 1回
（特別委員会の現状報告と執行部の検討）

2、各党派改善提案事項の討議結果

- ① 議会だより、ホームページについて
- 紙質を落とし経費削減
・ 現在より紙質を落とし、殆ど経費削減には繋がらない。再生紙にする。逆にコストが上がるため、紙質については現状でよい。

○ 本会議終了1ヶ月以内に発行

- ・ 現状では発行を早めることは、編集作業の行程に時間的余裕がないため困難である。

※編集委員会での検討課題としたい。

② 会派研修について

○ 政務調査費の廃止

- ・ 平成21年4月に条例改正し、月額を半額の1万円にしており、廃止も含めて議論したが、先進地の研修や議員活動をする上で政務調査費は必要であり、残すべきである。

○ 会派研修の報告内容の公開

- ・ 研修した直近の議会だよりやホームページに掲載し、市民に公開する。書式は統一する。

③ 女性議会について

○ 女性議会の開催

- ・ 女性の政策決定への参加を促す面でも、女性議会は有効。しかし市内の女性自らの盛り上がりで行うべきもの。まず、議会と女性の意見交換会を開催してはどうか。その場合、女性団体協議会だけでなく、あらゆる階層を視野に入れ保育園、幼稚園、小中学校等の保護者代表も含めて声をかけて行くのがよい。

④ 議員研修について

- 議員研修の充実強化、各専門家や市民各層との研修会、研修報告書を議長に提出

- ・ 議員研修の充実強化について、分野の専門家、市民各層との研修会を開き、意見交換により市民の意見を

議会として聴くことは必要、積極的にしていくべき。具体的な取組については今後の検討課題。

- ・ 研修報告は、会派研修報告と同様、書式を統一して報告する方向で進む。

- ・ 委員会研修は、合同研修が主になっているが、各委員会の管轄に的を絞った研修もしていく必要があるため、常任委員会毎で研修することも検討する必要がある。

○ 議長の任期

- ・ 法律を遵守する。法律では4年任期としているので、その中で当事者が考えていけばよい。

○ 議員間の政策討論

- ・ 制定に向けて進めている「議会基本条例」に盛り込む。

⑤ 経費削減について

○ 職員による湯茶接待の廃止

- ・ 議会中など多忙な時は、議員控室にポットや茶葉、コーヒー等事務局で準備してもらい、議員各自で行う。

○ 選挙時の公費負担の削減

- ・ 現制度、法律を遵守する。申し合わせが必要な事項があれば、検討する。



⑥ 監査委員について

○任期見直し

・「地方自治法第197条議員の任期とする。」を遵守する。

⑦ 予算決算について

○財務常任委員会での質問内容の簡素化

・現状で問題がないので、現状で進める。

⑧ その他

○会派室設置

・現状では難しい。現、第1委員会室を改修し、議会図書室、インター

ネット等の調査ができるように整備し、会派で会議にも使用できるスペースにしていく。

※執行部との組み合わせが必要

○通年議会の検討

・現段階では難しい面もある。調査研究が必要。

3、執行部の回答及び課題

①委員会に関する件では、条例案等の委員会付託について、

・付託案件を決定するための詳細説明を議連で当日又は前日に行うこととする。

②議決事項を追加に関する件では

・長期総合計画の基本構想については、「議会基本条例」の中で議決すべきこととして条文化する。出資法人については、報告事項であるが、質疑応答ができるようにする。

③執行部付属機関への就任に関する件では

・基本的に法令に基づき委員以外は就任を要請しないこととする。地区長等の要職については、その都度協議していきたい。

《法令の定め》監査委員・民生委員推薦会・都市計画審議会
*防災会議への参画については要請する。

4、「議会基本条例」制定に向けた活動

★条例の検討区分大項目

・前文、総則

市民の福祉向上と公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とする。

・議会及び議員の活動原則

活動事項の原則を条文化する。

・市民と議会の関係

地域の課題を把握して市民の福祉向上と市政の発展を目指すものである。(前号参照)

・市長と議会の関係

議会は、市長に対し政策等の項目に関する情報の提供を求める。議会は、市長から提供された情報をもとに政策等執行後の評価に役立つような審議をすることを規定する。

・自由討議による合意形成

委員会等において議員相互間の議論

を尽くすことで合意形成に努め、市民に対しては説明責任を果たすことを規定する。議員自らが積極的に議案の提出に努力をすることを規定する。

・政務調査費(※)

政務調査費を有効に活用し、政策提言等のための調査研究に積極的に努めなければならない。活動状況を報告することを規定する。

・議会、議会事務局の体制整備

議会が行政監視機能、政策立案機能を積極的に担っていくために、補助機関としての議会事務局体制の整備、充実化を図ることを規定する。

・議員定数、議員報酬及び政治倫理

議員報酬等は、蕪崎市特別職報酬等審議会の意見を参考にする。蕪崎市議会議員政治倫理規定により、議員としての必要な措置を定める。

・最高規範性及び見直し手続き

議会運営における最高規範である。議会は、議会に関する他の条例等を制定し、または改廃する場合においては、この条例に反してはならない。

※「政務調査費」は、条例改正によりその名称を「政務活動費」に変更する予定です。



第1回ヒルクライムチャレンジシリーズ 葦崎甘利山大会が開催されました

11月4日ヒルクライム葦崎甘利山大会が開催され、甘利山の山頂までの山道を自転車で登る348名のサイクリストが健脚を競いました。一番早い人は、山頂までの11.7Kmを44分35秒で駆け上り、山頂のゴールを切りました。

また、式典会場では、カレーコンテスト

や各種イベント

により、大会を盛り上げておりました。

チャレンジ！まいたうんカレーでは、ご当地食材を使ったカレーコンテストを行い、会場を訪れた皆さんがカレーを試食しており、葦崎にらの会の「にらたっぶりカレーほうとう」が第1位に選ばれました。

編集後記

10月臨時議会の委員
会選任により私たちは、
今回より新たに「議会
だより編集委員」とな
りました。議会だよ
りの編集については、
中々馴染みにくい内容
で報告的要素が多いか
とは存じますが、より
分かりやすい内容の掲
載に努めてまいります。
市民の皆様におかれ
ましては、今後ともよ
ろしくご指導いただけ
ますようお願い申し上

げます。
年末を控え何かとお
忙しい時期を迎えま
す
が、健康にご留意し
て
輝かしい新年をお迎
え
ください。

議長 野口 紘明
副議長 岩下 良一
委員 清水 一
藤嶋 英毅
森本由美子
興石 賢一
小林 伸吉

- 12月 6日(木) 開会
諸報告
市長所信表明
- 17日(月) 一般質問
18日(火) 一般質問
19日(水) 議案審議
財務委員会
常任委員会
議案審議
委員長報告
閉会
- 21日(金)

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。

※委員会を傍聴する場合には事前に申し込んでください。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

12月定例会日程